

人間学研究所 事業報告

(2001～2002年度)

I. 公開講演会・シンポジウム・研究公演

2001年5月13日

テーマ：「日本文化論の昨今：外国から見た場合と日本から見た場合」

講師：ペフ・ハルミ

2001年12月13日

テーマ：「家族における父親」

シンポジスト：山極 寿一（京都大学理学部助教授）

妙木 浩之（久留米大学文学部教授）

2002年1月31日

テーマ：「京都の都市伝統の創造性と変革性

：大文字五山送り火をめぐって とくに左大文字を中心に」

講師：和崎 春日（名古屋大学教授）

コメンテーター：伊藤 唯真（京都文教短期大学学長）

2002年7月4日

テーマ：「文明から野蛮へ：生態史観からみた世界史」

講師：三木 亘（歴史学者）

2002年12月18日

テーマ：「今宵\$文教に精霊が集う：アフリカン・ドラムのワークショップ」

公演者：ジュリアス・チャロ・シュトゥ（アフリカン・ドラム演奏者）

レオナルド・オモンディ（アフリカン・ダンサー）

コメンテーター：上田富士子（本学教授）

酒木 保（本学教授）

2003年1月31日

テーマ：「夢は『自然』か『文化』か

：スーダンのある社会の事例から人類の夢のナゾを考える」

講師：岡崎 彰（神奈川大学助教授）

コメンテーター：鑑 幹一郎（本学教授）

II. 共同研究

* 「家族を考える」

（共同研究者）

文化人類学科：上田富士子・奥野克己・金 基淑・鈴木七美・竹内裕子・古川まゆみ・

松田 凡・森 正美・安田ひろみ

臨床心理学科：秋田 巖・今井 式・禹 鐘泰・香川 克・高石浩一・名取琢自・森谷寛之
学 外：大橋亜由美・岡田珠江・吉 沅洪・高田夏子・滝口俊子・谷口裕久・豊田園子・中山紀子

* 「京都論：その多文化的側面から」

(共同研究者)

文化人類学科：石川真作・鵜飼正樹・遠藤 央・金 基淑・小林康正・杉本星子・竹内裕子・
西川祐子・橋本和也・日野舜也・森 正美

臨床心理学科：秋田 巖・高石浩一・竹口 等・樋口和彦・平岡 聡

学 外：大橋亜由美・荻野美穂・鶴見太郎・中谷文美・T. ギル・豊田園子

* 「食と癒しの文化」

(共同研究者)

文化人類学科：奥野克己・金 基淑・小林康正・安田ひろみ・鈴木七美

臨床心理学科：平岡 聡

学 外：寺崎弘昭・白水浩信・周禪鴻・中山紀子・谷口裕久・L. ボンド

* 「異文化としての内なる『老い』」

(共同研究者)

文化人類学科：鵜飼正樹・杉本星子・西川祐子・日野舜也・森 正美

臨床心理学科：酒木 保・高石浩一・濱野清志・平岡 聡

* 「ことばと心」

(共同研究者)

文化人類学科：日野克美

臨床心理学科：酒木 保・陸 君

学 外：吉 沅洪

* 所長特別研究プロジェクト

「野蛮と文明：20世紀を人間学する」

Ⅲ. 刊行物

- ・『京都フィールドワークのススメ：あるく・みる・きく・よむ』
鵜飼正樹・高石浩一・西川祐子編 2003年3月 昭和堂

Ⅳ. ニュースレター

- ・Vol. 2, Issue 2 (2001年3月31日発行)
「私の学問遍歴」(鵜飼正樹・高石浩一・平岡 聡) など
- ・Vol. 2, Issue 3 (2003年1月10日発行)
「私の学問遍歴(続)」(鵜飼正樹・高石浩一・平岡 聡) など

Ⅴ. 紀要

- 『人間学研究』 (第3号)